

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6・7	<b>【身体講師くをしないケアの実践】</b> <b>【虐待防止の徹底】</b> ・委員会は実施されているが、委員以外の職員へ活動内容の周知が不十分。 ・マニュアルはあるが職員の理解に乏しい現状がある。	・身体拘束及び虐待虐待防止について、正しい知識を習得する。 ・マニュアルの見直しを行い、実際に活用できるマニュアルを作成する。	(1)委員会の活動内容について、会議だけでなく情報共有できるようにする。 (2)マニュアルの見直しを実施する。 (3)勉強会を開催し、マニュアルを周知し理解を深める。	6ヶ月
2	18	<b>【本人と共に過ごし支えあう関係】</b> ・手伝い等を依頼する人がいうも同じ ・共に「何か」を行うことが少ない ・個々に合わせた役割の検討が不十分	・一人ひとりのレベルに合わせた、暮らしの中での役割を見つける。 ・「生活を共にするパートナー」という関係性を築く。	(1)利用者一人ひとりに合わせた暮らしの中での役割を目に見える形にし作成する。 (2)当番制の物を作る(日常生活面にて) (3)日課の中に職員とともに談笑する時間を設ける。	6ヶ月
3	35	<b>【災害対策】</b> ・コロナ禍以降地域消防団との関係が希薄に。 ・有事の際、どの程度協力を得られるか不安。 ・災害用備蓄が十分かどうか不安。	・地域消防団に防災訓練を通してホームの現状を理解してもらう。 ・有事の際の協力体制をより明確にする。 ・災害用備蓄の見直しと訓練の実施。	(1)コロナ禍以前のように防災訓練に消防団に参加してもらい、勉強会等を開催する。 (2)BCPマニュアルの見直しを行い、消防団の役割を明確化する。 (3)災害用備蓄の在庫確認と整備。たきだし訓練の実施。	6ヶ月
4	40	<b>【食事を楽しむ事のできる支援】</b> ・盛り付けなど簡単な作業は実施するが、材料の準備などにかかわる機会が少ない。 ・ホームの外で食べる機会が少ない。(外食の機会が少ない) ・献立は職員だけ立案している。	(1)定期的に利用者とかかわりながら調理などをする機会を増やしたい。 (2)外食の実施。 (3)管理栄養士も交え、利用者と一緒にメニューを作成していく。	(1)季節の行事に合わせておやつなども一緒に作る機会を設ける。 (2)外食に出かけられるよう支援する。 (3)利用者の意見を取り入れたメニューを作成する。	6ヶ月
5	49	<b>【日常的な外出支援】</b> ・面会時間に制限があるため利用者、家族とも満足できていない。 ・外出に付き添える人員がなかなかいない。	(1)ご家族と外出ができるよう支援する。 (2)近場でも外出する機会を設ける。 (3)ドライブなどを取り入れてみる。	(1)ご家族にできる範囲での外出を依頼する。 (2)カナリア(敷地内カフェ)などを利用する。 (3)イベントとしての外出ではなく、買い物なども気軽に出かけ、外出の機会を増やす。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。